

# よしみ 議会だより

2011  
第124号  
吉見町議会  
2月1日発行  
編集  
議会だより編集委員会  
比企郡吉見町下細谷411  
TEL 0493(54)1511



笑顔で新たな始まり (吉見町成人式 平成23年1月9日 フレサよしみ)

## 12月定例議会

### 3月定例議会

2月25日(金)

から開催される予定です。

この議会だよりは再生紙を使用しています。

- 期末手当・給料等を減額 … P 2～3
- 一般質問に7名登壇 … P 4～7
- 視察研修報告 … P 8～9
- 一部事務組合報告 … P 10～11
- 議会日誌、編集後記 … P 12



12月定例議会

# 職員の給料及び期末手当・勤勉手当

## 並びに町長・副町長・教育長

### 及び議員の期末手当を減額

#### 議案審議結果

町長提出議案

議案番号	件名	審議結果
議案第59号	吉見町一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第60号	吉見町長及び副町長の給与等に関する条例及び吉見町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第61号	吉見町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第62号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	原案可決
議案第63号	平成22年度吉見町一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第64号	平成22年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第65号	平成22年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第66号	平成22年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第67号	平成22年度吉見町水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第68号	吉見町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	同意

12月定例議会は、11月30日から12月3日までの4日間の会期で行なわれました。

今定例議会は、町長から提出された条例・補正予算、人事案件など10議案の審議が行なわれ、すべて可決・同意されました。

一般質問については、7名の議員が登壇し、町政全般について活発な議論が展開されました。

#### 主な議案の内容

■議案第59号……………  
吉見町一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

—主な改正事項—

- 人事院勧告等に基づき職員の給与について改正するものです。
  - ・給料表の引き下げ
  - ・期末手当・勤勉手当の年間支給割合を0.2月分の減  
4.15月から3.95月にする。

■議案第60号……………  
吉見町長及び副町長の給与等に関する条例及び吉見町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

—主な改正事項—

- 吉見町特別職報酬等審議会の答申に基づき、町長、副町長及び教育長の期末手当の支給割合について改正するものです。
  - ・期末手当の年間支給割合を0.2月分の減  
4.15月から3.95月にする。

■議案第61号……………  
吉見町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

—主な改正事項—

- 吉見町特別職報酬等審議会の答申に基づき、吉見町議会議員の期末手当の支給割合について改正するものです。
  - ・期末手当の年間支給割合を0.2月分の減  
4.15月から3.95月にする。

■議案第63号……………  
平成22年度吉見町一般会計補正予算(第3号)

既定の予算額に歳入歳出それぞれ911万円を追加し、予算の総額を61億2,437万5千円とするものです。

—主な歳入として—

- ◎国の子宮頸がん等ワクチン接種促進臨時基金事業補助金 200万円
- ◎国の子ども手当事務取扱交付金 208万4千円
- ◎県の農業災害対策特別措置事業補助金 228万9千円

などがあります。

—主な歳出として—

- 人件費関係で、吉見町特別職報酬等審議会の答申及び人事院勧告等に基づく給料等の改正に伴うものなど △2,186万6千円
  - 保養施設利用者助成金 24万円
  - 子宮頸がんワクチン接種に伴う予防接種委託料 400万円
  - 新型インフルエンザワクチン予防接種費用負担軽減助成金 21万円
  - 住宅リフォーム補助金 40万円
  - 農業災害対策特別措置事業(高温障害による規格外米への補助金) 457万8千円
  - 水路整備工事及び水路補修工事 310万円
  - 県営湛水防除事業(吉見領)負担金 370万円
  - 県営農道保全対策事業(広域農道)負担金 2,362万5千円
  - 道路の維持修繕等工事 160万円
  - 道路測量等委託料 400万円
  - 一般水路改修工事 580万円
  - 屋内運動場(西小学校)設計委託料 800万円
  - B&G海洋センタープール改修工事設計委託料 220万5千円
  - 財政調整基金積立金 △4,394万7千円
- などがあります。

#### 人事

##### 固定資産評価審査委員会委員の選任同意

固定資産評価審査委員会委員に  
土田 健 壽 氏(再任)を選任同意いたしました。

住 所：吉見町大字北吉見1613番地146  
生年月日：昭和16年6月4日





# 町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

## 米の消費拡大、環境にやさしい農業の普及推進は

荻野 勇 議員

**問** 学校給食での米飯給食の回数増はできないか。  
**答** 学校給食運営委員会に提案し、平成23年度から週4回に増やす方向で検討いたします。



みんなで食べる楽しい学校給食

**問** 米飯給食を週4回にした場合の課題と対応は。  
**答** パン、メンに対しコストの面から材料費が1回につき、2万5千円高くなると予想しております。総額では100万円程度になるかと思います。しかし、

吉見町は米の生産地ですので町の施策として、町負担でやっていきたいと考えます。

**問** 埼玉県では職員に対し、彩のかがやきの購入運動を推進しております。町はどう対応しているか。

**答** 町職員に対し、購入の協力依頼をし、21名で195kgの購入希望がありました。また、サンプル品を役場正面玄関に展示、味にそん色のないこと、農協直売所で販売している旨等をPRしております。

**問** 有機質資源を活用した環境負荷の低減に資する有機農業の推進を図っていく考えは。

**答** 有機質資源のリサイクルの促進においては、稲わら、麦わら等の土壌還元、水田農業構造対策支援事業でも支援しておりますソルゴーの鋤込みによる緑肥等、地域の特性を生かした有効活用方法が必要と考えます。適切な活用方法については、関係機関と連携して推進したいと考えます。

**問** 水田や用排水路に、どじょう、鮒等の生き物が、生息できる環境づくりを進める考えは。

**答** 町は下水道事業を中心に水質保全に取り組んでいます。また、「広報よしみ」で町内河川、水路等の水質状況について、油や調味料、洗剤等が水質に与える影響、家庭でできる生活排水対策を掲載し、水質浄化に努めております。

## 吉見町の地域性を生かす環境の整備は

尾崎 豊 議員

**問** 私たちが生活するうえで地域の環境の整備は大切です。町の中にも多くの公園がありますが、現状で県・町等で管理する公園の状況については。

**答** 都市公園の一人当たりの面積は、県営吉見総合運動公園を含めると滑川町について県内第2位を有します。



荒川河川敷にある吉見総合運動公園

**問** 緑の基金の活用について、吉見町で実施された緑化推進事業と今後の計画は。

**答** 森林整備をすることで、不法投棄や不審者の防

## 安全な学校運営

神田 隆 議員

**問** 各学校施設の耐震診断も進められておりますが、現在の状況についてお聞きしたい。

**答** 町では、いち早く耐震化対策に取り組んでおります。学校施設につきましては、全19施設中、17施設が耐震対応となっております。残る2施設につきましても、耐震診断の結果、安全性の確保が困難なことから、耐震対策を講じてまいりたいと考えております。

**問** 東第二小学校校舎では、外壁等一部のコンクリートが破壊され、鉄筋の腐食が心配されます。鉄筋の腐食の進行により構造機能の低下が進み、本来の強度が保たれず十分な構造耐力の確保ができないのではないのでしょうかお聞きしたい。

**答** 外部壁面等に鉄筋によるコンクリート剥離が認められます。目視によりますと、配力筋また組立筋の腐食によるものと思われます。このままの状態が長く続きますと、構造物に悪影響も考えられますので適切に対処してまいりたいと考えております。

犯対策にも役立つことから本事業を活用し、平成20年度から下草刈等実施しております。

**問** 児童、生徒数の減少と今後の取り組みについて、減少による各小学校区の見直しと学校運営は。

**答** 当面は、現状の運営を続けていきたいと考えていますが、近い将来検討が必要なことも予想されます。

**問** 吉見中学校の学習の整備も大切です。器具の整備は。

**答** 各部活動ともに、それぞれめざましい活躍を続けておりますので、部活動で使用する用具、器具につきましても、その充実について、今後も進めたいと考えております。

**問** 学校教育の取り組みとして、記念プレート作成を。

**答** 功績をたたえとともに、生徒の士気高揚につながるよう吉見中学校と設置に向け進めています。

**問** 町の支援事業について、フレサよしみの今後の活動の中で、中学校の吹奏楽と連携した楽団を。

**答** 町民会館事業の充実につきましては、今年度、重点的に取り組んでおります。今後も地域・学校・家庭の連携を図り、明るい町づくりを推進していきます。

**問** 学校の危機管理状況についてお聞きしたい。

**答** 各学校ではさまざまなトラブルを想定し、緊急対応マニュアルを作成しております。幸いにして学校関係での大きな事故等は、発生しておりません。



火災による避難訓練の様子

**問** 平成17年12月に、閉鎖作動時の防火シャッター等の危害防止機構等の設置が義務づけられましたが、各学校の改修状況についてお聞きしたい。

**答** 法改正後、防火シャッターの改修は行なっておりません。事故防止対策といたしましてシャッター設置箇所にトラテープを貼付し、壁には注意喚起用ポスターを設置したところです。



### 改善・是正は速やかに

公明党 長島 茂 議員

問 子ども手当について国は、平成22年度限りとの地方負担分を平成23年度も求める考えを示したことで反対決議などの動きがある。町の見解と対応は。

答 反対の動きは承知しています。政権公約のとおり地方に負担を転嫁せず、全額国費で実現されるべきであります。しかし、町には政策的な判断の余地がないのも事実でありますので、今後のすう勢を見極め対応をいたします。

問 効果的な行財政運営と住民への説明責任がある財務会計で、作成ルールの統一化の動きがある。①その背景は。②新地方公会計制度とは。③国際的な公会計基準と、導入の利点と問題点は。

答 ①背景には自治体の財政破たんがあります。②自治体は基準モデルと総務省方式改定モデルのいずれかを使用。どちらにも長短があり、その改善を図るのが新地方公会計制度です。③国際会計士連盟の公会計基準審議会が策定したもので、作成コストが安

くできる反面、自治体に国際基準が必要かとの指摘があります。

問 新年度予算はどのようなことに配慮して教育・福祉・工事関連の各事業予算に取り組むのか。

答 予算編成の途中ですが、各事業とも重要であり、業務に支障が生じないように十分考慮してまいります。

問 道の駅については、課題解決、環境改善を図り町の産業観光の一大拠点として、さらなる発展を望む意味で度々質問をしてきた。新たな事業展開の考えと出店組合及び出店者との間で問題はなかったか。

答 今後も地域産業の活性化や交流の場として親しまれる施設に努め、新事業については検討してまいります。出店者との間に問題もありましたが、町をはじめ関係者で十分話し合い、円滑な運営に努めてまいります。



道の駅いちごの里よしみ

高齢化の進む中、住宅改修サービスを利用される方は増えていくことと思います。利用者の一時的な負担を軽減するため、ぜひ実施を願うが、町の考えは。

答 利用者がさまざまなトラブルに巻き込まれないように配慮しつつ、実施を検討してまいります。



玄関前外階段の手すりの設置

問 地域福祉計画の策定について。

だれもが安心して暮らせる仕組みづくりは、地域福祉の新しい要請です。行政、住民、企業、団体等が連携して、地域全体で課題解決に取り組む地域福祉計画の策定が急がれると思いますが、計画策定の考えは。

答 平成25年度に作成作業を行なう計画です。

### 命を守る対策について

公明党 安孫子和子 議員

問 救急医療情報キット導入について。

医療情報やかかりつけ医、緊急連絡先、保険証の写しや本人確認できる写真等を容器に入れ、どのご家庭にもある冷蔵庫に保管し、救急隊がキットの存在を一目でわかるように、玄関ドアの内側と冷蔵庫にシールを貼り、迅速な救命処置や搬送先選別に役立つものです。高齢者や障がい者、一人暮らしの方等へのキット配布を願うが、町の考えは。

答 早期導入の実現に向け検討してまいります。

問 乳幼児の細菌性髄膜炎の予防のため、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの公費助成について両ワクチンを生後2か月から接種すれば、4回で約7万6千円かかり、子育て世帯には大きな負担です。ワクチンで防げる病気が経済状況で接種できないようなことがあってはなりません。公費助成の考えは。

答 条件が整い次第、なるべく早くに実施していくべきと考えています。

問 介護保険の住宅改修費の受領委任払いについて

### 新しいごみ処理施設の建設について

日本共産党 杉田しのぶ 議員

問 現在町では、ごみを共同処理しているが、施設の老朽化に伴い、中部環境センターで新施設整備に向け検討が進められている。その中で、新たにごみ処理を共同して行ない



埼玉中部環境センター

たいという団体からの申し入れがきており、仮に全てを受け入れた場合、今の処理人口の倍以上の40万人を超える規模になると聞いている。現施設があるのは、吉見町であり、吉見町が構成市町である以上、新施設の建設地が吉見町になる可能性もあるこ

### 不登校児童・生徒の現状について

小柳幸一郎 議員

問 小・中学校では、いろいろな事情から登校が困難な児童・生徒がいますが、その現状、また学校での対応はどうなっているか。

答 ほとんどの児童・生徒は毎日元気に通学しておりますが、健康上の理由などから一部の児童・生徒が登校困難な状況にあります。これらの児童・生徒に対しては担当教諭等が不定期に家庭訪問や電話連絡での状況確認、登校支援に努めております。今後とも、不登校対策に積極的に取り組んでまいります。

問 中学校の部活動支援について。

答 各部活動での用具・器具等の充実については運動部の多くは私物として個々人で用意いただいております。吹奏楽部は楽器等高額な物が多いことから学校備品として用意し、利用させております。長年にわたる使用から修理、更新が必要なものもあります。吹奏楽部の活躍のため、支援を続けてまいりたいと考えております。

とから、町民に対しても随時情報提供を行なうとともに、多くの町民の声が反映できるように意見収集を行なう形がとれないか伺いたい。

答 中部環境の新施設検討委員会が出された提言書は、ホームページで見ることができているが、情報提供や意見収集については、町単独ではできないと考えているため、中部環境と十分協議をし検討したい。

問 この夏の猛暑で「彩のかがやき」が大きな被害を受け、町としても今議会で助成措置を行なう方針である。この他、農業共済に加入している人には共済が適応され、米の収穫量に対しての支援金が支払われるということだが、今回の被害は量ではなく品質であり、収穫量の減での計算では支援金がほとんどもらえない状況である。一方で共済側が持っている余裕資金は10億円超あると聞いている。町も毎年共済に対して負担金の支出をしていることから、農家の皆さんを守る立場での支援要請を働きかけてほしい。

答 農業祭の時に、共済組合の役員と同席し、支援をしていただくよう話をした。町として、できることは全面的にやっていきたいと考えている。

この他、新保育所保育士体制とT P P問題の質問もしました。



フレサよしみミュージックフェスタで演奏する吉見中吹奏楽部

問 中曽根から田甲へ抜ける町道102号線の舗装について。

答 この道路は、町の幹線道路であります。舗装が一部悪い状態になっておりますので、安全性の面から改善に努めてまいります。

問 吉見分署前の町道と町道212号線が県道で交差している箇所の改良について。

答 変則に交差しているため、見通しが悪く事故も多く、中央市街化区域との境の道路で交差点改良の場合には、用地取得と警察、県土整備事務所との協議が必要になります。現地を精査させていただくこととしております。



視察研修報告

総務建設常任委員会

宮崎 雄一 委員長

収納率向上の実例を視察

〔視察日〕平成22年10月20日(水)  
〔視察先〕茨城租税債権管理機構

本町の町税の収納率は、平成19年度の93.73%をピークに減少傾向にあり、平成21年度は92.18%、収入済額は約25億4,700万円であります。そうした中さらなる収納率向上に向け、茨城租税債権管理機構を視察いたしました。

東第二地区は昭和7年から10年にかけて実施した1反区画のほ場となっており、この度東第二地区を対象とした埼玉型ほ場整備事業が計画中であり、その事業の参考といたしたいため福島県南相馬市の原町南部地区のほ場整備事業について視察いたしました。

滞納徴収の実例に学ぶ

平成13年4月に、茨城県内全市町村を構成団体とする市町村税の徴収のための一部事務組合として設立されました。処理業務としては、市町村から移管された市町村税・個人県民税の滞納整理、滞納処分の執行停止・不納欠損処分の適否判定、滞納整理に係わる実務研修等であります。設立10年目を迎え実績は着実に伸び10億円を超える金額となっております。もう一つの柱である市町村職員を対象とした滞納整理に係わる実務研修は、全県的な徴収技術の向上に寄与するものとなるよう工夫を重ね充実されております。「設立前と比較して現在の収納率全国の順位は」の質問に対し、滞納繰越分の収納率は13.9%で全国43位でしたが、平成20年度では17.5%で32位と収納率、順位とも向上しているとのことでした。茨城租税債権管理機構の滞納整理の取り組みは、きちんと納税している方との公平性を保つことはもちろん、滞納したままにしておく延滞金という形で納税金額が増えることになり、滞納者のためにも適正な差し押さえが必要であるという姿勢が印象に残る視察でありました。



茨城租税債権管理機構

ほ場整備事業を視察

〔視察日〕平成22年10月21日(木)  
〔視察先〕福島県南相馬市

農業の生産性向上と経営規模拡大へ

ほ場整備事業の推進は、生産性の向上と経営規模拡大による農業構造の改善を図り、同時にソフト事業である担い手への大規模な集積を図るべく積極的に取り組んでおります。今回視察しました「原町南部地区」は平成25年度の完了を目指し、現在実施中の地区で、面積は217.7㌦、事業費51億7,300万円で、現在までの進捗率は63.5%で面整備は終了し今後パイプラインと暗渠排水を実施するとのことでした。一区画が1㌦の大ほ場、ブロックローテーションによる大豆の栽培ほ場、川から上流部の小さな池にポンプで揚水し自然流下による「コップス方式」のパイプラインについて説明を受けました。特にコップス方式では高低差が3mでも直径600mmのパイプで自然流下により田に水を供給することができ、揚水ポンプによるパイプラインに比較して電気代や設備費等の維持管理費が軽減できるとのことです。東第二地区で取り組まれるほ場整備が実施された場合は、コップス方式によるパイプラインの採用については検討すべき事案であり、まさに先進的な事例を視察することができました。



福島県南相馬市視察の様子

視察研修報告

教育福祉常任委員会

柳谷 泉 委員長

南房総市立丸山中学校を視察

〔視察日〕平成22年10月18日(月)  
〔視察先〕千葉県南房総市

本町においても、「学びと絆を深める人づくり」の基本理念を基に、さまざまな事業に取り組んでおります。そのようなことを踏まえ、教科センター方式を導入し、オール電化設備に取り組んでおります千葉県南房総市立丸山中学校を視察いたしました。

また、本町のみならず生涯スポーツの必要性・重要性が求められております。吉見町の生涯スポーツ事業のさらなる発展に資するため、総合型スポーツクラブに取り組んでおります千葉県館山市の「館山ファミリースポーツクラブわかしお」を視察いたしました。

特色ある学校づくり

教科センター方式とは、教科毎の専門教室で授業を行なうことです。丸山中学校においては、独立したホームベースエリアをもつ教科センター方式を導入しており、一日の流れの中で、自ら時間を守り行動することを重視し、ノーチャイムを実施しております。このことを他に例を見ないことから「丸山方式」と命名しております。また各施設は、鉄筋コンクリート構造となっておりますが、内装材には地元産の丸山杉がふんだんに使用され、やさしく温かみのある空間を創り出しており、生徒たちからは気持ち落ち着くと評判がよく、地元への愛着と誇りが芽生え、校舎を大切にす気持ちにつながっているとのことでした。また、オール電化を導入した経緯は、災害時にライフラインの中で最も電気の復旧が早いことから導入したそうです。また、夜間電力を利用した蓄熱式床暖房や氷蓄熱式空調システムが完備されているとのことでした。生徒たちが、いきいきとして最新の設備の整った学校でありました。吉見町の教育環境のさらなる充実を図るために、たいへん得るものが多い研修でありました。



千葉県南房総市立丸山中学校視察の様子

総合型地域スポーツクラブを視察

〔視察日〕平成22年10月19日(火)  
〔視察先〕千葉県館山市

いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも

館山ファミリースポーツクラブわかしおは、総合型スポーツクラブの設立を目指し、平成16年「地域のスポーツ振興について考える会」を組織し、この会のメンバーには、行政担当者、体育協会、体育指導委員、スポーツ少年団、地域サークル、学校スポーツ担当者などが参加し、協議を重ねて、翌年から仮活動を行ないながら、約2年間の準備期間を経て、平成19年3月に設立し本格的な活動を開始したそうです。「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」を合言葉に、世代を超えてだれでも気軽にスポーツ活動を通じて、健康づくり、仲間づくりができる「原っぱ」のような活動をめざし現在では、22種目あり年間を通じて活動しているとのことでした。

町においても、さまざまなスポーツ大会や教室が展開されていますが、総合型地域スポーツクラブは今後のスポーツ振興や地域コミュニティーの醸成に寄与するものと感じた視察でありました。



千葉県館山市役所



# 一部事務組合報告

## 埼玉中部環境保全組合議会定例会 神田 隆 議員

期日 平成22年10月22日 午前9時から  
場所 埼玉中部環境センター会議室

吉見議会から荻野勇議員、小柳幸一郎議員、内野正美議員、神田隆の4名が出席いたしました。

平成22年4月から9月末までの上期の管内ごみの処理量は、可燃ごみと粗大ごみ合わせて1万9,651.85トンであり、前年度同期と比較して443.23トンの減であります。なお、このほかに小川地区衛生組合から受託ごみ427.49トンの可燃ごみを処理しております。また、今年度のダイオキシン類調査は、1号炉が0.0025ナノグラム、2号炉が0.0063ナノグラム、3号炉が0.0032ナノグラムであり、基準値の5ナノグラムを大きく下回る良好な結果であります。第2期大間最終処分場につきましては、フローバイオシステムが順調に稼働しており、廃止基準の一つのBODの数値も良好な結果であります。原水のPH（水素イオン濃度）が高く、薬剤により中和を図っておりますが、中性域よりまだかなり高く、今後も県の担当部局から指導をいただきながら、廃

止に向けて努力しております。

### 付議された議案

- 議案第7号 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について
- 議案第8号 埼玉中部環境保全組合職員の懲戒の  
手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第9号 埼玉中部環境保全組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第10号 埼玉中部環境保全組合清掃施設手数料条例の一部を改正する条例
- 議案第11号 平成22年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算（第1号）について
- 議案第12号 平成21年度埼玉中部環境保全組合一般会計決算認定について

以上、上程されました6議案とも慎重審議のうえ、原案のとおり可決、認定されました。

## 北本地区衛生組合議会定例会 安孫子和子 議員

期日 平成22年11月4日 午前9時から  
場所 北本地区衛生組合議場

吉見町議会から岩崎勤議員、杉田しのぶ議員、安孫子和子の3名が出席いたしました。

### ○議案第17号 北本地区衛生組合職員定数条例の一部改正について

組合職員から埼玉県央広域公平委員会へ不服申し立て等がなされた場合、公平委員会へ組合職員を派遣することが想定されていましたが、実質では共同設置している一部事務組合及び北本市を除く構成市の定数条例に公平委員会の規定がないことから、他の団体と整合させるため字句の整理を行なうものです。

### ○議案第18号 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について

蓮田市及び蓮田市白岡町衛生組合の名称変更に伴い、埼玉県市町村総合事務組合規約別表を整備するため、同組合規約の変更をするものであります。

提出された2議案は、原案のとおり可決されました。

市町別処理状況につきましては、平成22年1月から9月までの前年同月との比較から、各市町の動向を見ると、北本市は増加し、吉見町、久喜市菖蒲区域、鴻巣市の順で減少しています。

吉見町は、123.48klの減少でした。

## 比企広域市町村圏組合議会臨時会 尾崎 豊 議員

期日 平成22年11月29日 午前10時から  
場所 東松山市議会議場

吉見町議会から、小林周三議長と尾崎豊の2名が出席いたしました。議長より開議の宣告の後議席の指定が行なわれ、新しく選任された小川町の高橋秀夫議員の紹介がなされました。会議録署名議員の指名がなされ、会期につきましては、11月29日、1日限りと決定いたしました。次に副議長の選挙が行なわれ、議長より指名推薦で高橋秀夫氏に決定しました。次に管理者より提案理由の説明がなされ、上程されました議案は、議案第30号から議案第35号の6議案です。

### ○議案第30号 比企広域市町村圏組合一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について

### ○議案第31号 比企広域市町村圏組合火災予防条例の一部を改正する条例制定について

### ○議案第32号 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について

### ○議案第33号 平成22年度比企広域市町村圏組合一般会計補正予算（第2号）について

### ○議案第34号 平成22年度比企広域市町村圏組合消防特別会計補正予算（第3号）について

### ○議案第35号 平成22年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害程度区分審査会特別会計補正予算（第2号）について

いずれの会計も職員の給与改定に伴う補正が主たる内容です。

上程されました議案につきましては、慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。

## 訃報 小柳幸一郎氏 逝去



平成22年12月8日吉見町議会議員小柳幸一郎氏が逝去されました。享年54歳。故小柳幸一郎氏は、平成15年5月吉見町議会議員に初当選され、文教厚生常任委員会副委員長、教育福祉常任委員会副委員長、議員倶楽部幹事を歴任され、平成21年5月から副議長に就任され、また、埼玉中部環境保全組合議員として、地方自治の進展のため積極的に取り組まれました。

豊富な知識と温情豊かな人柄は、吉見町の発展に大きく貢献され氏の逝去が惜しまれてなりません。  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

議 会 日 誌

月 日	件 名
H22. 9.10	第32回吉見町老人クラブ連合会ゲートボール大会
11	平成22年度吉見中学校体育祭
12	吉見町商工会会員研修会
18	平成22年度町内各小学校運動会
20	第60回吉見町敬老会
22	平成22年度吉見中学校学校祭
24	埼玉県議会主催「議員政策研修会」
25	吉見町立保育園合同運動会
26	よしみ幼稚園運動会
29	議会だより編集委員会
10. 1	(仮称) よしみ保育所新築工事・子育て支援センター新築工事の安全祈願祭
3	第54回吉見町民体育祭
7	議会だより編集委員会
8	埼玉県吉見浄水場地元対策推進協議会解散総会
13	第16回東松山警察署管内地域安全大会並びに東松山地区暴力排除推進大会
14	第9回埼玉県ゲートボール連盟比企支部主催親善ゲートボール大会
14	議会だより編集委員会
15	平成22年度町村議会議員研修会
16	第10回よしみコスモスまつり開会式
17	下細谷「ささら獅子舞祭」
18~19	教育福祉常任委員会視察研修

月 日	件 名
10.20~21	総務建設常任委員会視察研修
24	第21回埼玉県グラウンドゴルフ秋季大会
26	比企郡町村議会議長会議議長会議
27~28	平成22年度吉見町農業委員会県外研修
11. 3	吉見町商工祭
3	第39回吉見町文化祭
3	第25回吉見音頭（踊）発表会
5	平成22年度浄化槽シンポジウム
6	「ぐるっと埼玉サイクルネットワーク構想」モデルルート走行会
7	久喜市合併記念式典
9	全員協議会
13	桶川市「市制施行40周年記念式典」
14	吉見消防団消防特別点検
14	第28回西公民館まつり
14	吉見消防団消防特別点検に伴う懇親会
17	比企郡町村議会議長会議議長会議
17	第54回町村議会議長全国大会
20	平成22年度吉見農業祭
22	議会運営委員会
22	比企広域市町村圏組合議会組合市町村選出議員代表者会議
24	大里比企広域農道整備事業推進協議会平成22年度先進地視察
29	比企広域市町村圏組合議会臨時会

編 集 後 記

新年を迎え、新たな気持ちで毎日をお過ごしのこととお慶び申し上げます。昨年の猛暑も気がつけば、寒波が列島に大雪を運んだ年末年始でもありました。気候、そして、私たちの生活を取り巻く環境も大きな変化を感じる一年でもありました。

社会のさまざまな変化が進む中、今年は兎年にちなんで大きく飛躍し、実り多い楽しい一年にしましょう。

議会だより編集委員会  
 委員長 内野正美  
 副委員長 尾崎 豊  
 委員 小林周三  
 委員 宮崎 雄一  
 委員 神田 隆